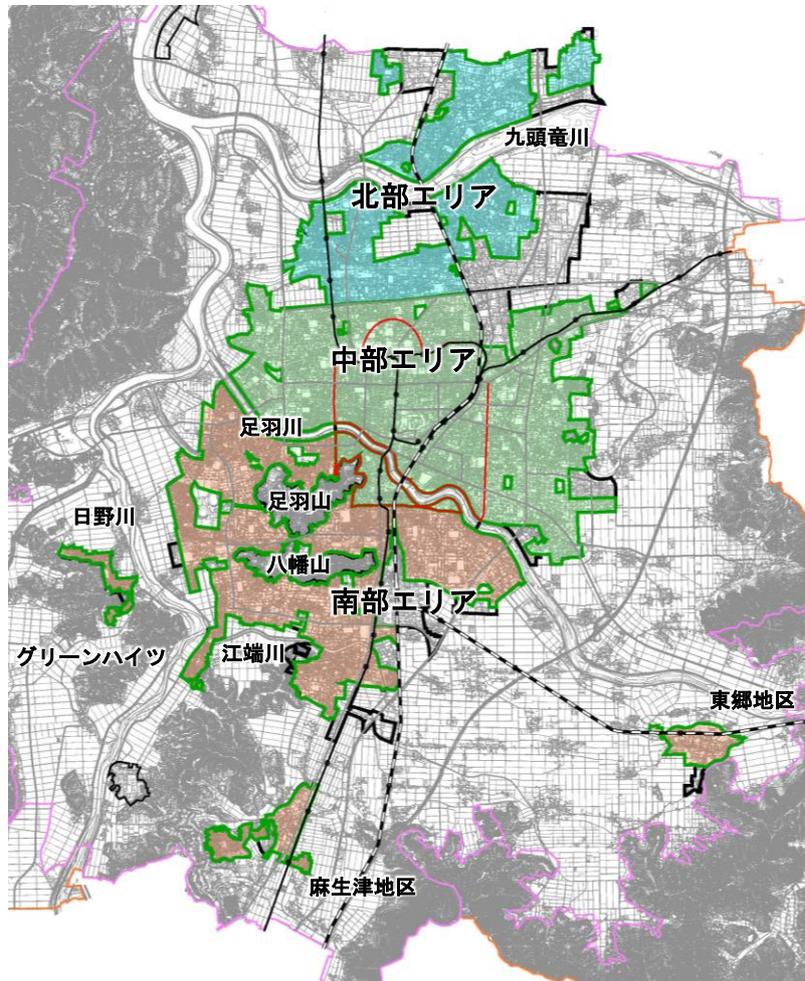


防災まちづくりの取組方針について

(1) エリア別の災害リスク

居住誘導区域を対象として3つのエリアに区分しました。各エリアの課題を把握・整理するとともに、災害リスクの低減に向けた取組方針を検討します。



<区分>

区分	各エリアに含まれる地区
北部エリア	森田地区、河合地区、中藤島地区、明新地区、松本地区、日新地区
中部エリア	順化地区、宝永地区、旭地区、日之出地区、松本地区、春山地区、啓蒙地区、足羽地区、豊地区、木田地区、和田地区、円山地区、日新地区、西藤島地区、湊地区、東安居地区
南部エリア	社北地区、社西地区、社南地区、足羽地区、東安居地区、清明地区、麻生津地区、豊地区、木田地区、東郷地区、六条地区、清水東地区、清水北地区

① 北部エリア

北部エリアは、森田北東部土地区画整理事業や北部第七土地区画整理事業などにより都市基盤が整備され、良好な住宅市街地の形成が図られています。

一方で、森田地区の南部や中藤島地区、明新地区は、洪水浸水想定区域（想定最大規模）3.0m以上の区域が広がっており、垂直避難による安全確保が困難な場合は、安全な建物や場所に早期に避難する必要があります。指定避難所や都市機能施設、インフラ施設は、浸水時にも機能の維持が求められるため、施設の耐水化が必要になります。また、明新地区や日新地区は、浸水継続時間が3日以上となっており、孤立による食料や飲料水等の不足により、健康障害が発生するおそれがあるため、早期に避難する必要があります。九頭竜川沿岸部とその周辺には、家屋倒壊等氾濫想定区域が分布しており、建物内での避難で安全を確保することが困難なおそれがあるため、安全な建物や場所に早期に避難する必要があります。

表 北部エリアにおける災害の分布状況

災害の種類			面積 (ha)			主な分布エリア	
大分類	中分類	小分類	市街化区域 約 1,190 (ha)	居住誘導区域 約 830 (ha)	都市機能誘導区域 0 (ha)		
水害	外水	洪水浸水想定区域 (計画規模)	浸水深 3.0m～	103.6	98.1	-	明新地区
		洪水浸水想定区域 (想定最大規模)	浸水深 3.0m～	784.5	651.2	-	森田地区南部、明新地区、中藤島地区
		浸水継続時間	3日以上	314.6	294.4	-	明新地区、日新地区
		家屋倒壊等 氾濫想定区域	氾濫流	97.2	67.7	-	九頭竜川沿岸部とその周辺
			河岸浸食	7.4	2.5	-	九頭竜川沿岸部とその周辺
	内水	内水浸水想定区域 (想定最大規模)※	浸水深 0.3m～	0.4	0.4	-	松本地区
土砂災害	土砂災害警戒区域	-	0.0	0.0	-	なし	
	土砂災害特別警戒区域	-	0.0	0.0	-	なし	
	急傾斜地崩壊危険区域	-	0.0	0.0	-	なし	
大規模盛土	大規模盛土造成地	谷埋め型	0.0	0.0	-	なし	
		腹付け型	0.0	0.0	-	なし	

※「福井市下水道ハザードマップ」で示している区域であり、下水道で雨水対策を実施している区域において、雨水が下水道に流しきれないことにより浸水が生じることが想定される区域

① 北部エリア

森田地区、河合地区、中藤島地区、明新地区、松本地区、日新地区

外水（洪水浸水想定区域浸水深3.0m以上）

課題

- ・ 森田地区の南部や明新地区、中藤島地区に分布
- ・ 垂直避難による安全確保が難しい場合は、早期避難が必要
- ・ 指定避難所や都市機能施設、インフラ施設が多く立地しており、機能維持に向けて耐水化が必要

外水（家屋倒壊等氾濫想定区域）

課題

- ・ 九頭竜川沿岸部とその周辺に分布
- ・ 建物内での安全確保が困難なおそれがあるため、早期避難が必要

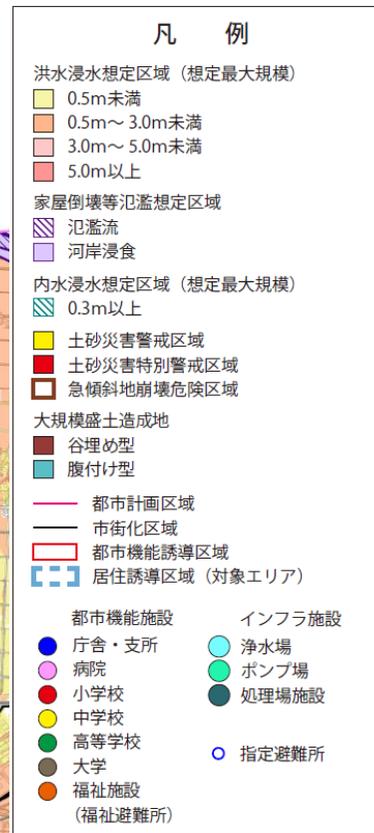
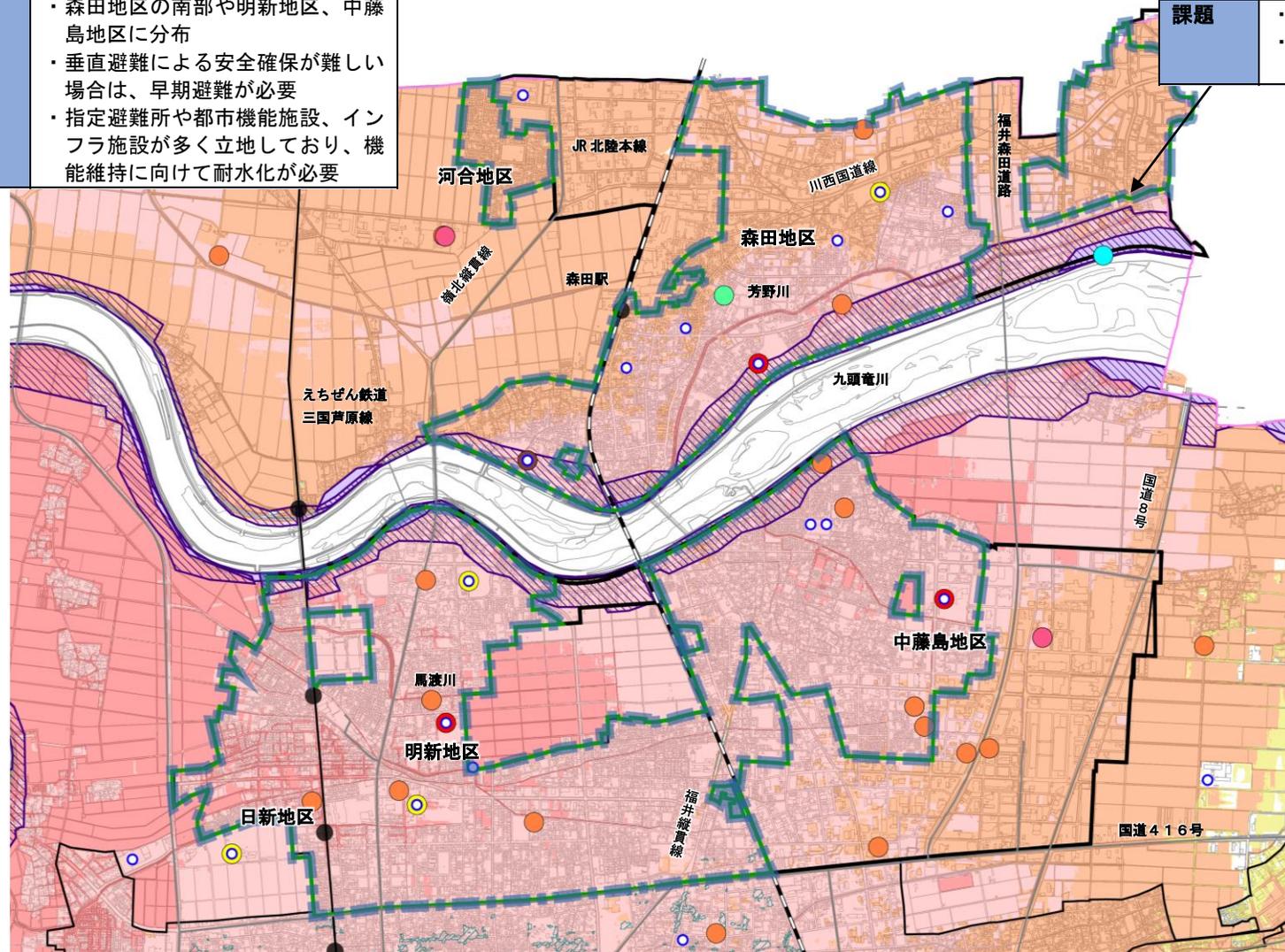
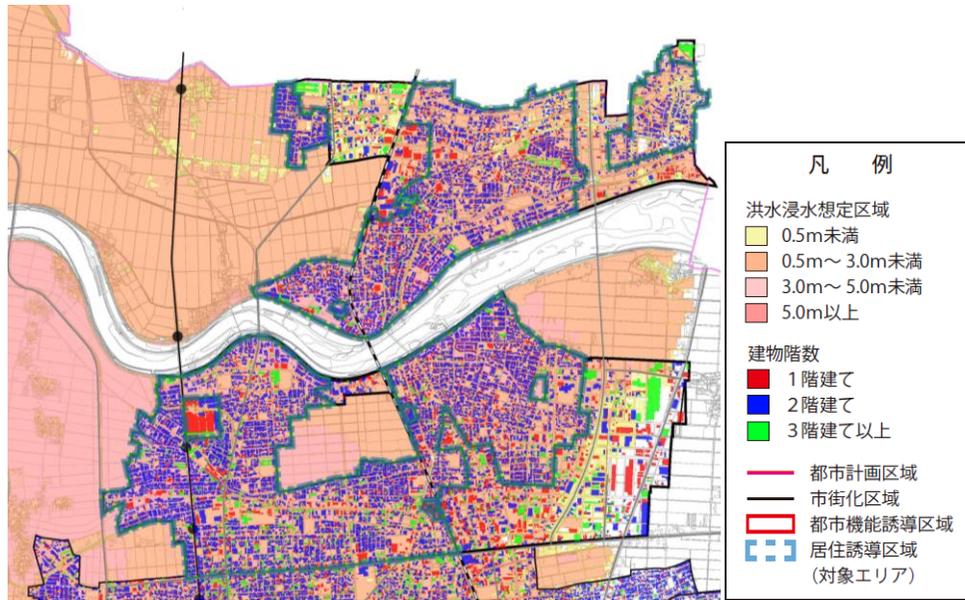
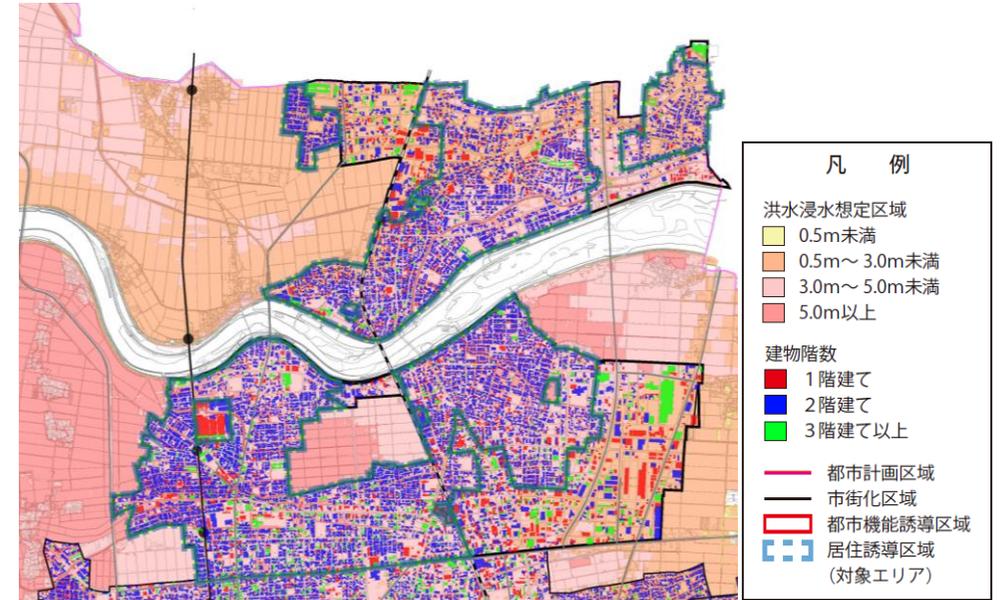


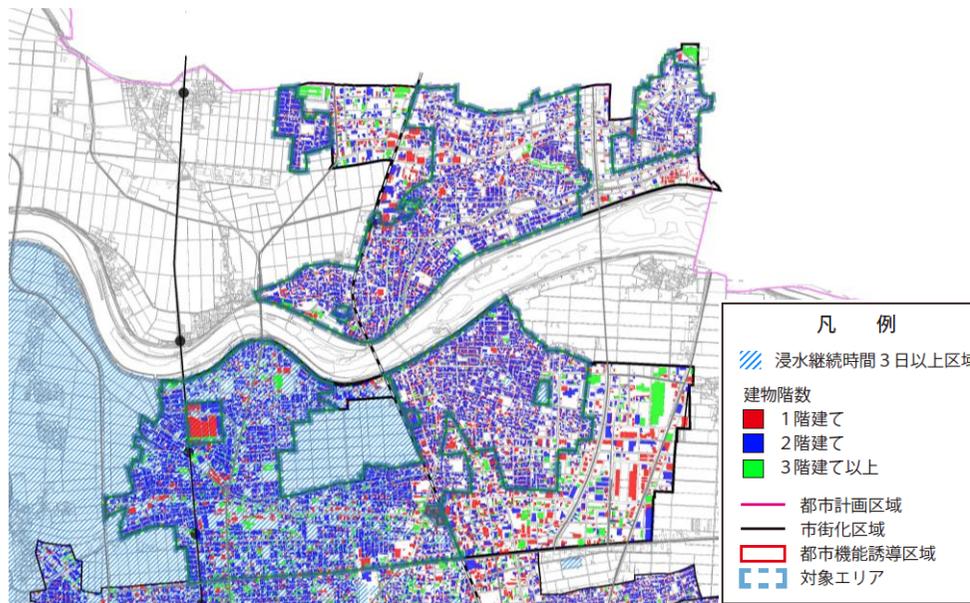
図 災害リスクの分布状況



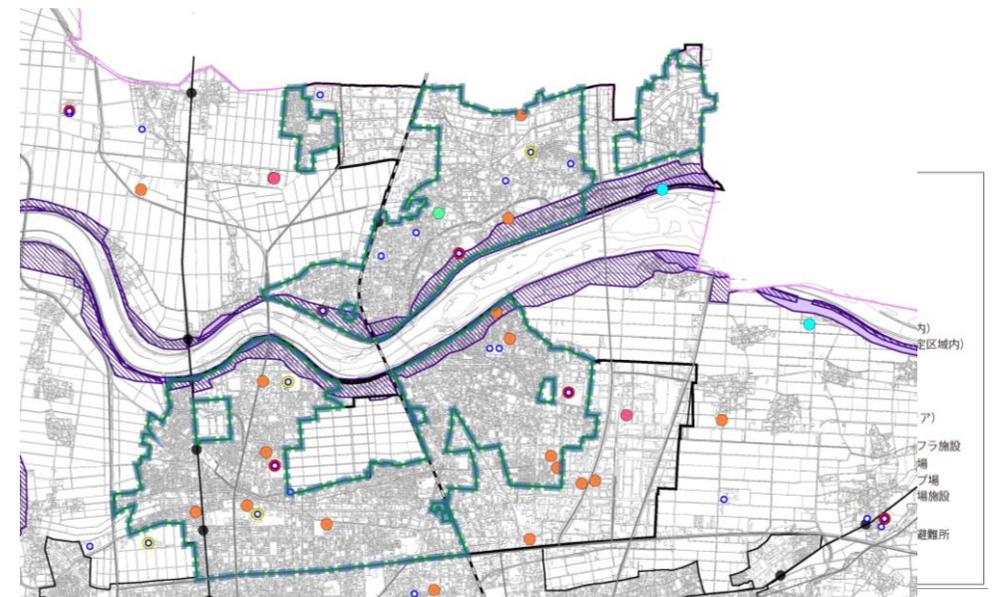
■洪水浸水想定区域（計画規模）×建物階数



■洪水浸水想定区域（想定最大規模）×建物階数



■浸水継続時間3日以上区域×建物階数



■家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流、河岸浸食）×建築物×都市機能施設等

② 中部エリア

中部エリアは、都市機能誘導区域を中心に、住宅や店舗、事務所などが共存し、利便性の高い市街地が形成されています。都市機能が集積するほか、足羽山や足羽川、養浩館庭園など福井の自然や歴史に触れあえるエリアとなっています。

一方で、エリアの中央部から西部にかけて洪水浸水想定区域（想定最大規模）3.0m以上の区域が広がっており、垂直避難による安全確保が困難な場合は、安全な建物や場所に早期に避難する必要があります。指定避難所や都市機能施設、インフラ施設は、浸水時にも機能の維持が求められるため、施設の耐水化が必要になります。同様に中央部から西部にかけては、浸水継続時間が3日以上となっており、孤立による食料や飲料水等の不足により、健康障害が発生するおそれがあるため、早期に避難する必要があります。足羽川と荒川の沿岸部とその周辺には、家屋倒壊等氾濫想定区域が分布しており、建物内での避難で安全を確保することが困難なおそれがあるため、安全な建物や場所に早期に避難する必要があります。また、都市機能誘導区域とその周辺には、内水浸水想定区域が分布しており、浸水被害の低減のため、止水板や土のうの設置など、家庭で対策を行うとともに、ポンプ場の排水能力向上などが必要になります。

足羽山と丸山の周辺には、土砂災害警戒区域に指定されており、安全な建物や場所に早期に避難する必要があります。

表 中部エリアにおける災害の分布状況

災害の種類			面積 (ha)			主な分布エリア	
大分類	中分類	小分類	市街化区域 約 1,800 (ha)	居住誘導区域 約 1,660 (ha)	都市機能誘導区域 約 600 (ha)		
水害	外水	洪水浸水想定区域 (計画規模)	浸水深 3.0m～	149.8	147.6	33.0	春山地区、湊地区、 足羽川沿岸など
		洪水浸水想定区域 (想定最大規模)	浸水深 3.0m～	916.2	866.7	381.8	エリア中央部から西 部にかけて
		浸水継続時間	3日以上	637.1	629.3	233.9	春山地区、湊地区、 豊地区など
		家屋倒壊等 氾濫想定区域	氾濫流	29.4	23.5	4.5	足羽川沿岸部とその 周辺
	河岸浸食		19.9	19.1	13.4	足羽川、荒川沿岸部 とその周辺	
内水	内水浸水想定区域 (想定最大規模)※	浸水深 0.3m～	302.6	297.8	107.5	都市機能誘導区域と その周辺	
土砂災害	土砂災害警戒区域	-	9.4	6.5	2.9	足羽山、丸山周辺	
	土砂災害特別警戒 区域	-	2.6	0.0	0.0	足羽山、丸山周辺	
	急傾斜地崩壊危険 区域	-	3.4	0.0	0.0	足羽山周辺	
大規模盛土	大規模盛土造成地	谷埋め型	0.0	0.0	0.0	なし	
		腹付け型	0.0	0.0	0.0	なし	

※「福井市下水道ハザードマップ」(下水道で雨水対策を実施している区域において、雨水が下水道に流しきれないことにより浸水が生じることが想定される区域)で対象としている浸水想定及び区域のみを示している。

② 中部エリア

順化地区、宝永地区、旭地区、日之出地区、松本地区、春山地区、啓蒙地区、足羽地区、豊地区、木田地区、和田地区、円山地区、日新地区、西藤島地区、湊地区、東安居地区

内水（内水浸水想定区域浸水深0.3m以上）

課題
 ・都市機能誘導区域とその周辺に分布
 ・浸水被害低減のため、家庭での対策やポンプ場の排水能力向上などが必要

外水（家屋倒壊等氾濫想定区域）

課題
 ・足羽川や荒川沿岸の沿岸部とその周辺
 ・建物内での安全確保が困難なおそれがあるため、早期避難が必要

外水（洪水浸水想定区域浸水深3.0m以上）

課題
 ・エリア中央から西部にかけて分布
 ・垂直避難による安全確保が難しい場合は、早期避難が必要
 ・指定避難所や都市機能施設、インフラ施設が多く立地しており、機能維持に向けて耐水化が必要

土砂災害（土砂災害警戒区域）

課題
 ・足羽山や丸山周辺に分布
 ・安全確保のため、早期避難が必要

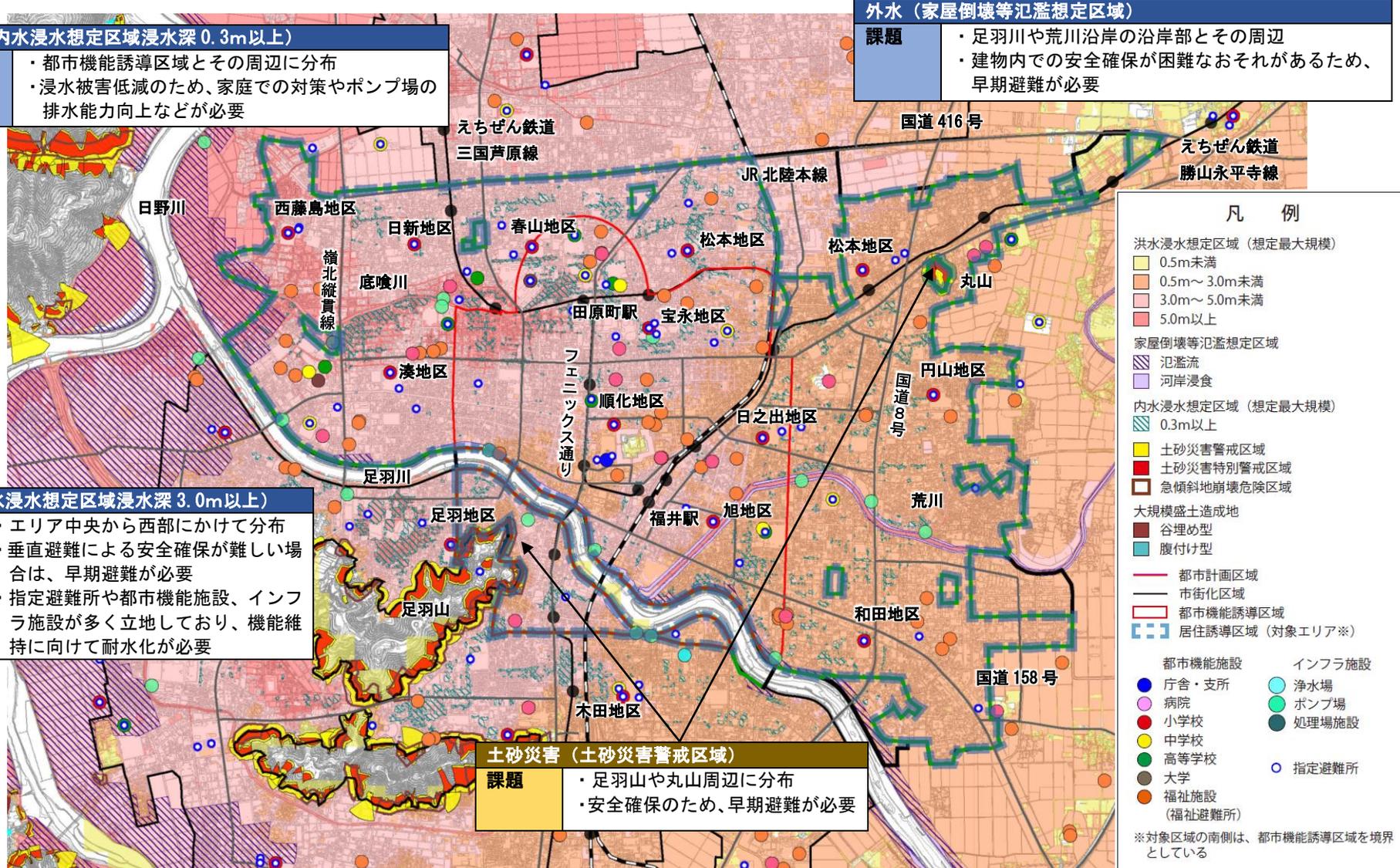
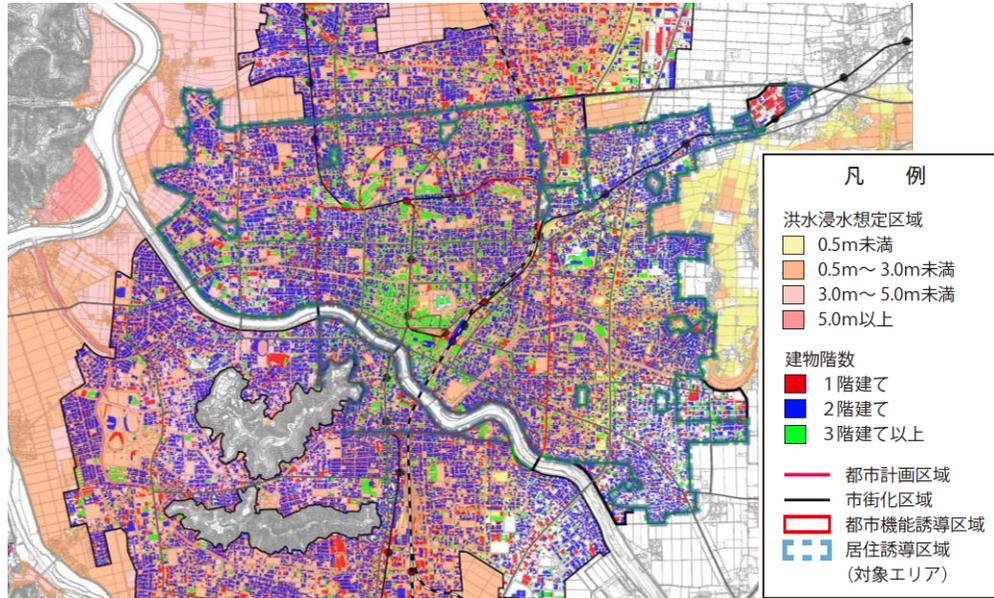
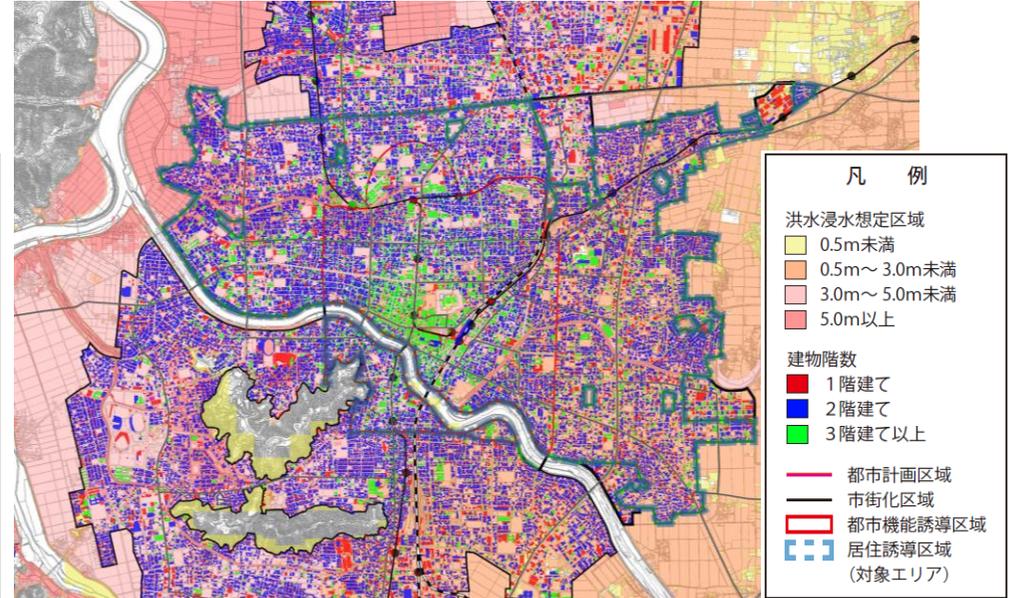


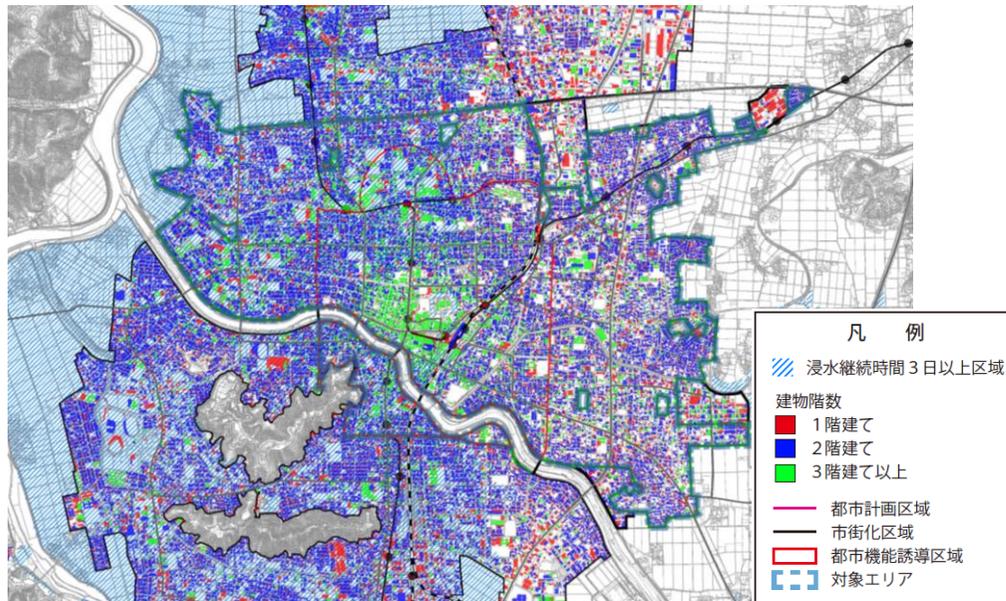
図 災害リスクの分布状況



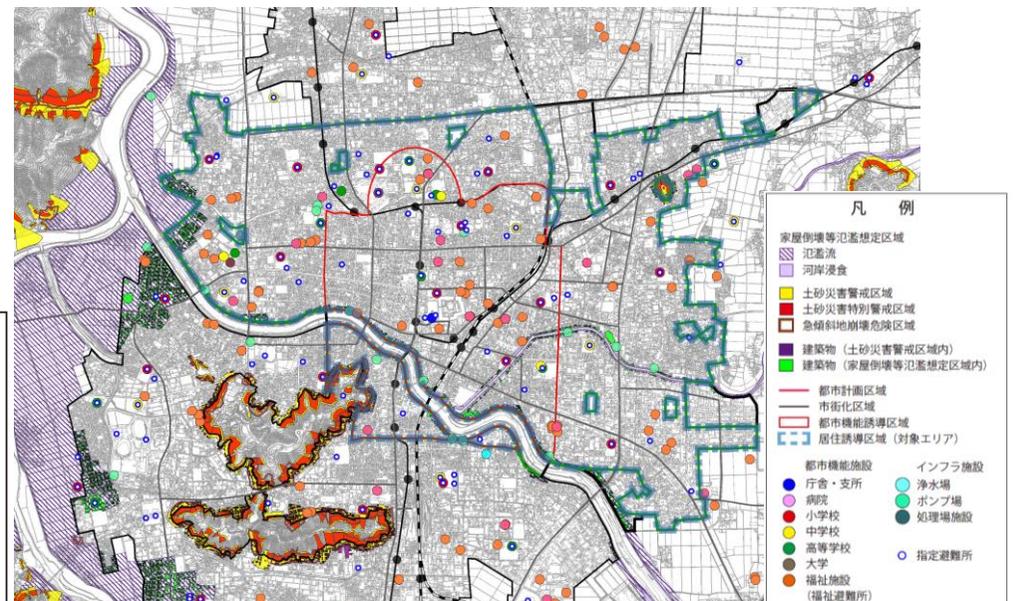
■洪水浸水想定区域（計画規模）×建物階数



■洪水浸水想定区域（想定最大規模）×建物階数



■浸水継続時間3日以上区域×建物階数



■家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流、河岸浸食）および土砂災害
×建築物×都市機能施設等

③ 南部エリア

南部エリアは、住宅を中心とした市街地が形成されており、福井運動公園や足羽山公園などのスポーツ・レクリエーション施設も立地しています。グリーンハイツや引目町、中野町には、大規模な住宅団地が形成されています。

一方で、中央部から西部にかけて洪水浸水想定区域（想定最大規模）3.0m以上の区域が広がっており、垂直避難による安全確保が困難な場合は、安全な建物や場所に早期に避難する必要があります。指定避難所や都市機能施設、インフラ施設は、浸水時にも機能の維持が求められるため、施設の耐水化が必要になります。木田地区の一部を除き、ほぼ全域が浸水継続時間3日以上となっており、孤立による食料や飲料水等の不足により、健康障害が発生するおそれがあるため、早期に避難する必要があります。日野川や足羽川、江端川の沿岸部とその周辺には、家屋倒壊等氾濫想定区域が分布しており、建物内での避難で安全を確保することが困難なおそれがあるため、安全な建物や場所に早期に避難する必要があります。また、足羽山の周辺には、内水浸水想定区域が分布しており、浸水被害の低減のため、止水板や土のうの設置など、家庭で対策を行うとともに、ポンプ場の排水能力向上などの整備が必要になります。

足羽山や八幡山の周辺、グリーンハイツ、清明地区は、土砂災害警戒区域に指定されており、安全な建物や場所に早期に避難する必要があります。

グリーンハイツや引目町、中野町とその周辺には、大規模盛土造成地が分布しており、安全性の把握を行う必要があります。

表 南部エリアにおける災害の分布状況

大分類		災害の種類		面積 (ha)			主な分布エリア
		中分類	小分類	市街化区域 約 1,610 (ha)	居住誘導区域 約 1,340 (ha)	都市機能誘導区域 0 (ha)	
水害	外水	洪水浸水想定区域 (計画規模)	浸水深 3.0m～	230.6	216.6	-	足羽地区、豊地区、社北地区など
		洪水浸水想定区域 (想定最大規模)	浸水深 3.0m～	689.2	630.1	-	エリア中央部から西部にかけて
		浸水継続時間	3日以上	1,066.7	875.2	-	エリア中央部から西部にかけて
		家屋倒壊等 氾濫想定区域	氾濫流	120.5	119.2	-	日野川、足羽川、江端川沿岸部とその周辺
	河岸浸食		13.6	10.7	-	足羽川、江端川沿岸部とその周辺	
内水	内水浸水想定区域 (想定最大規模)※	浸水深 0.3m～	37.6	33.8	-	足羽地区、木田地区、豊地区など	
土砂災害	土砂災害警戒区域	-	78.7	52.8	-	足羽山、八幡山周辺、グリーンハイツなど	
	土砂災害特別警戒区域	-	15.4	0.0	-	足羽山、八幡山周辺、グリーンハイツなど	
	急傾斜地崩壊危険区域	-	25.5	0.0	-	足羽山、八幡山周辺、麻生津地区など	
大規模盛土	大規模盛土造成地	谷埋め型	39.2	37.4	-	グリーンハイツ、麻生津地区	
		腹付け型	0.5	0.0	-	グリーンハイツ、清明地区、麻生津地区	

※「福井市下水道ハザードマップ」で示している区域であり、下水道で雨水対策を実施している区域において、雨水が下水道に流しきれないことにより浸水が生じることが想定される区域とします。

③ 南部エリア 1

社北地区、社西地区、社南地区、足羽地区、東安居地区、清明地区、豊地区、木田地区、六条地区、清水東地区、清水北地区

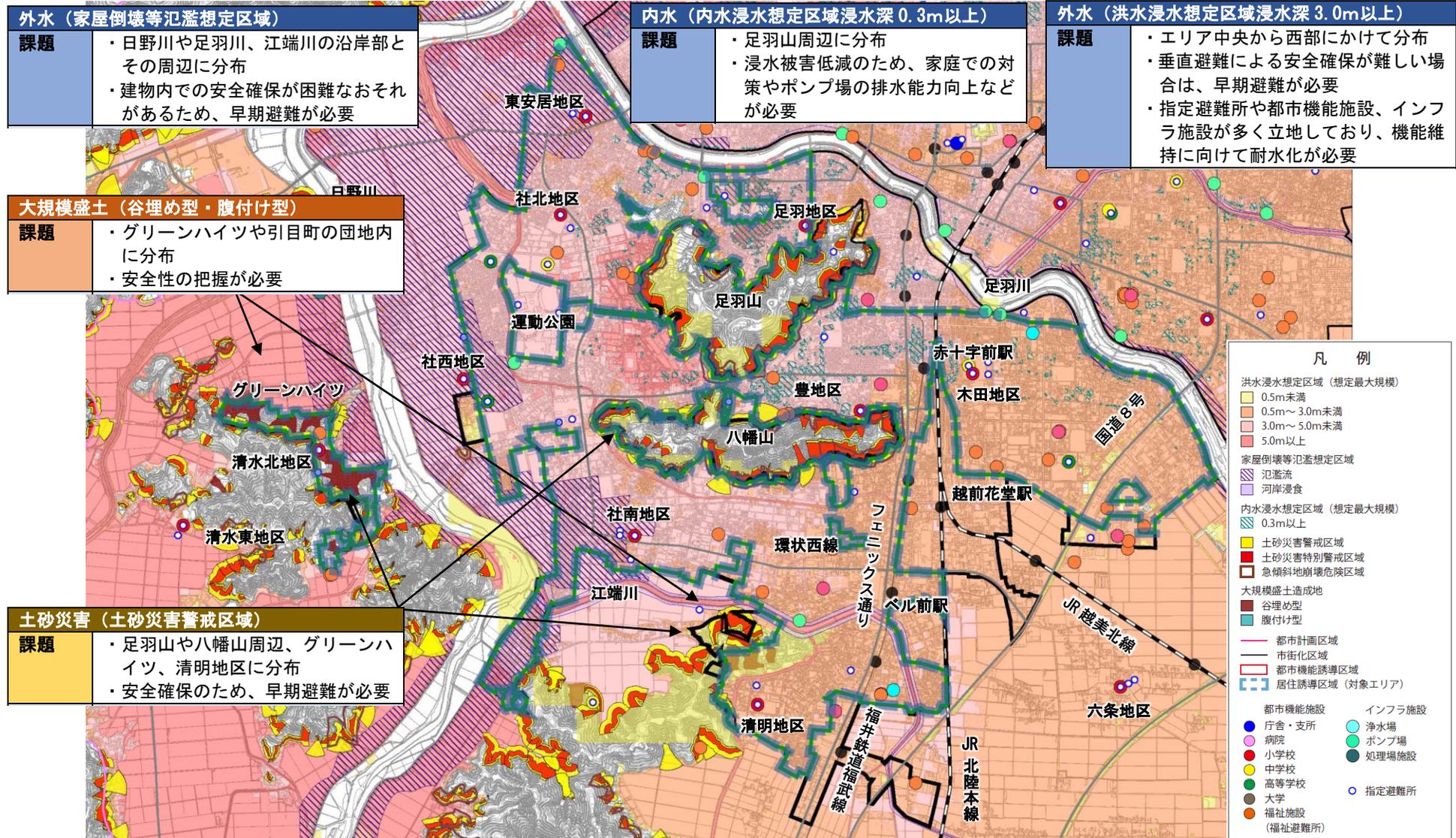
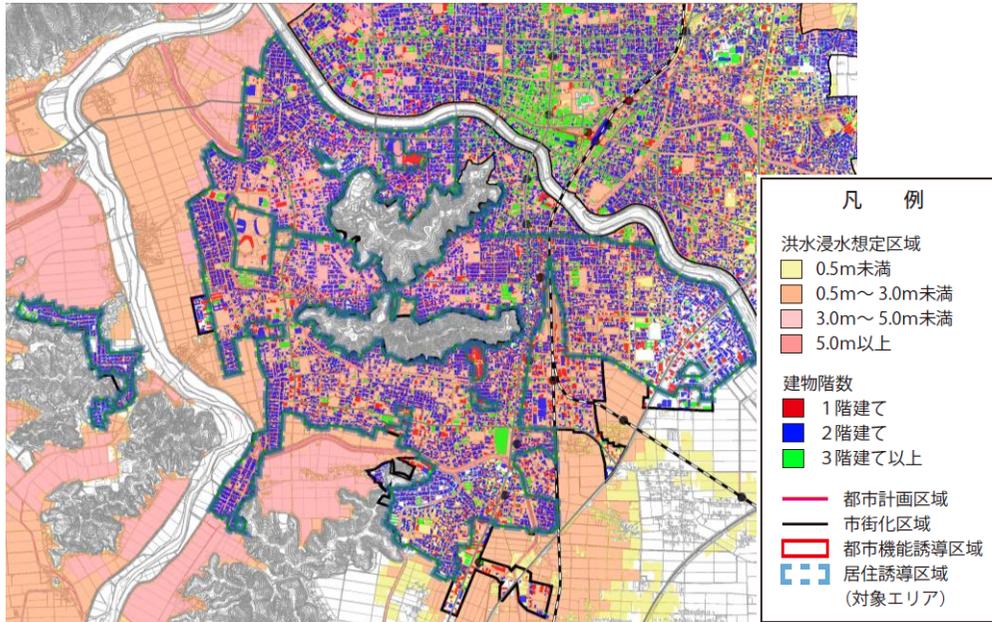
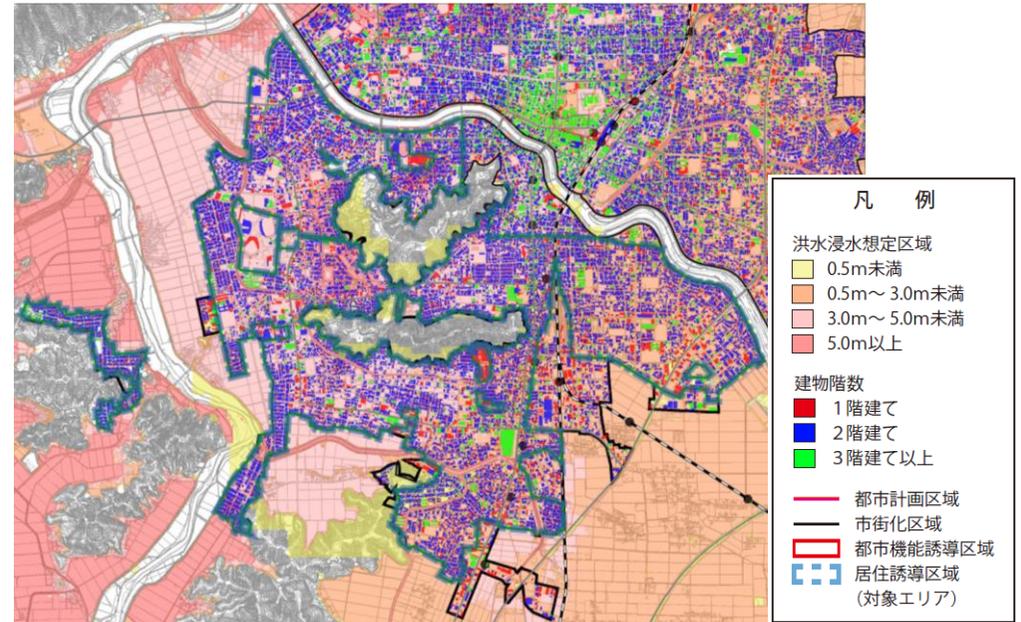


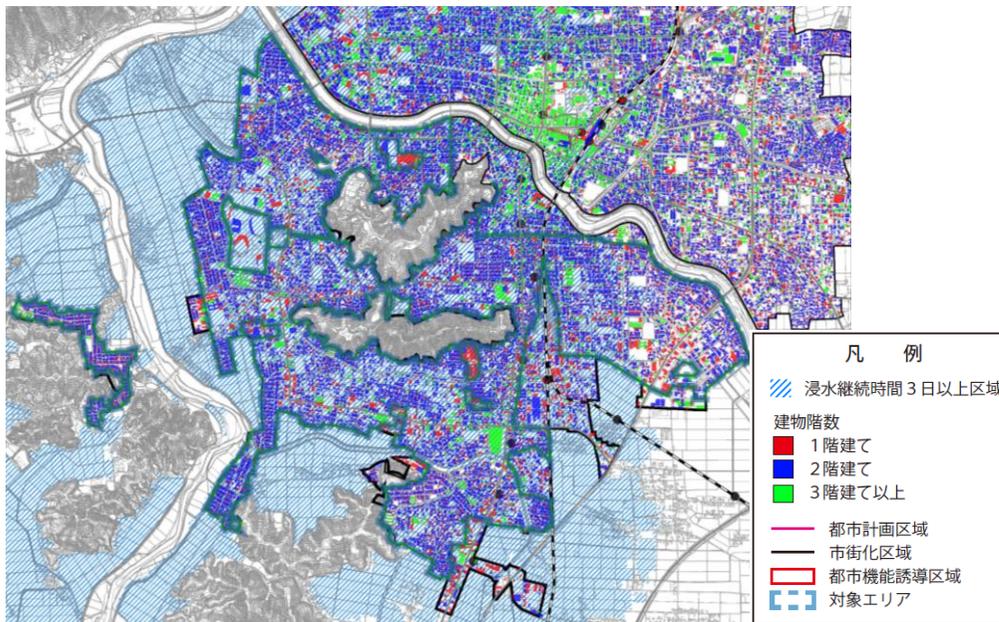
図 災害リスクの分布状況



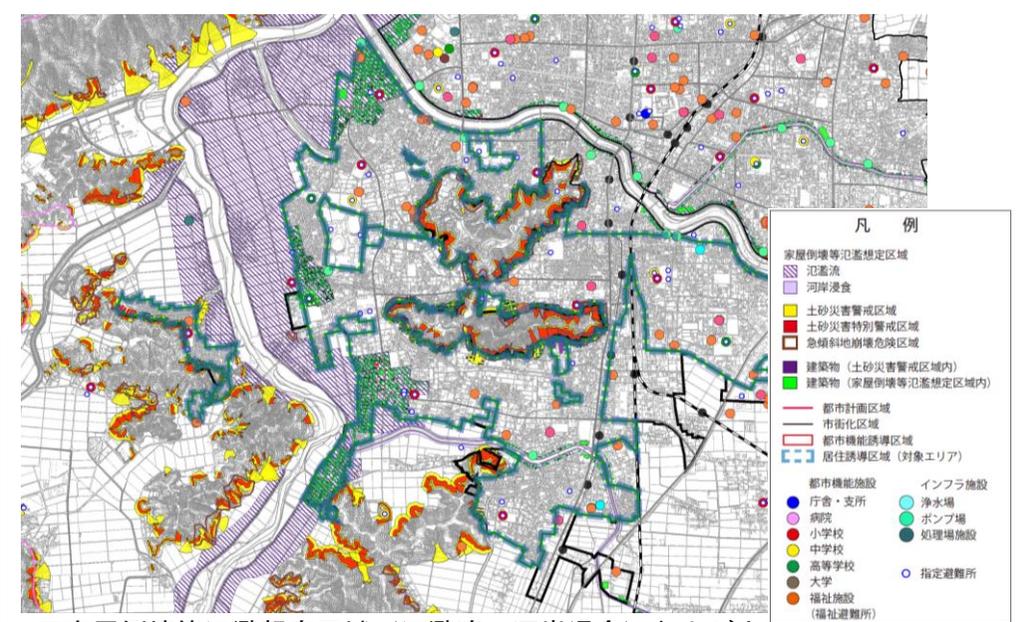
■洪水浸水想定区域（計画規模）×建物階数



■洪水浸水想定区域（想定最大規模）×建物階数



■浸水継続時間3日以上区域×建物階数



■家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流、河岸浸食）および土砂災害
×建築物×都市機能施設等

③ 南部エリア2

麻生津地区、東郷地区

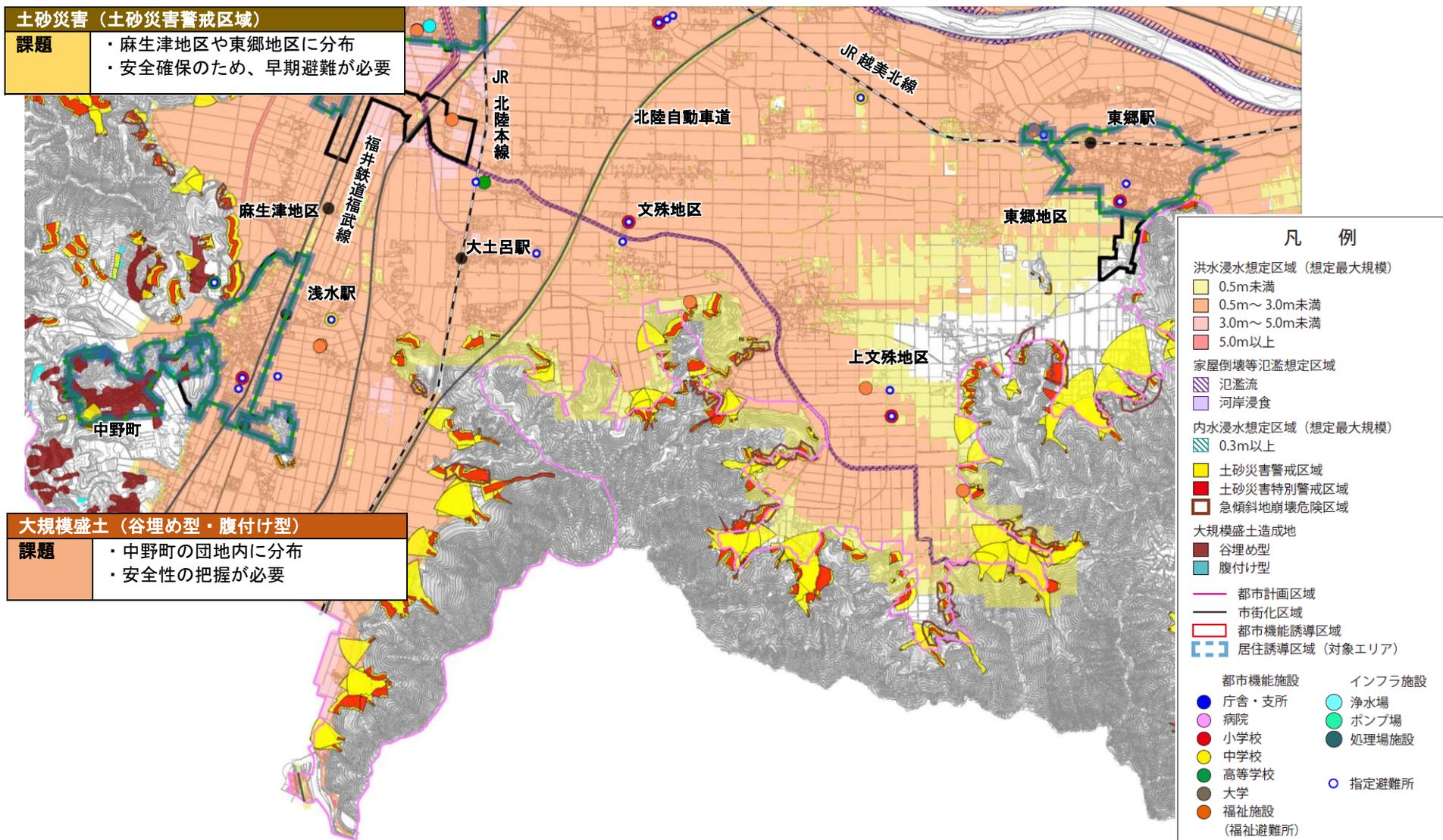
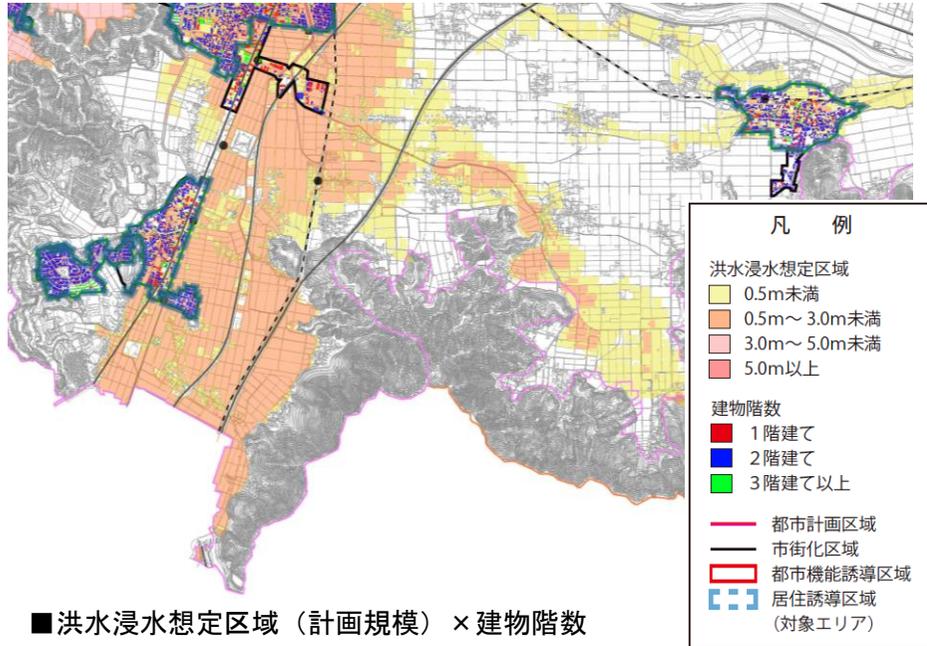
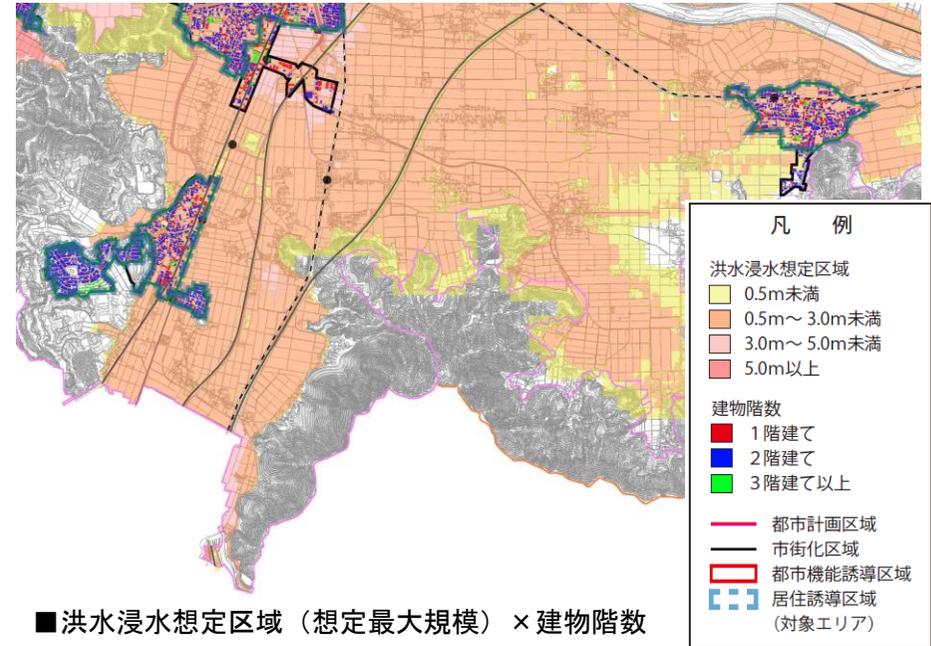


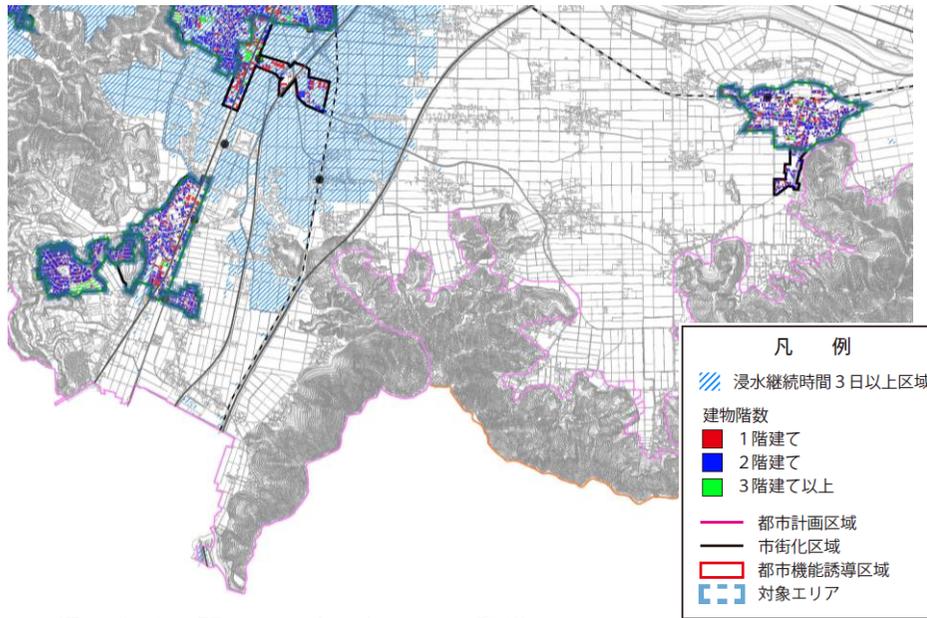
図 災害リスクの分布状況



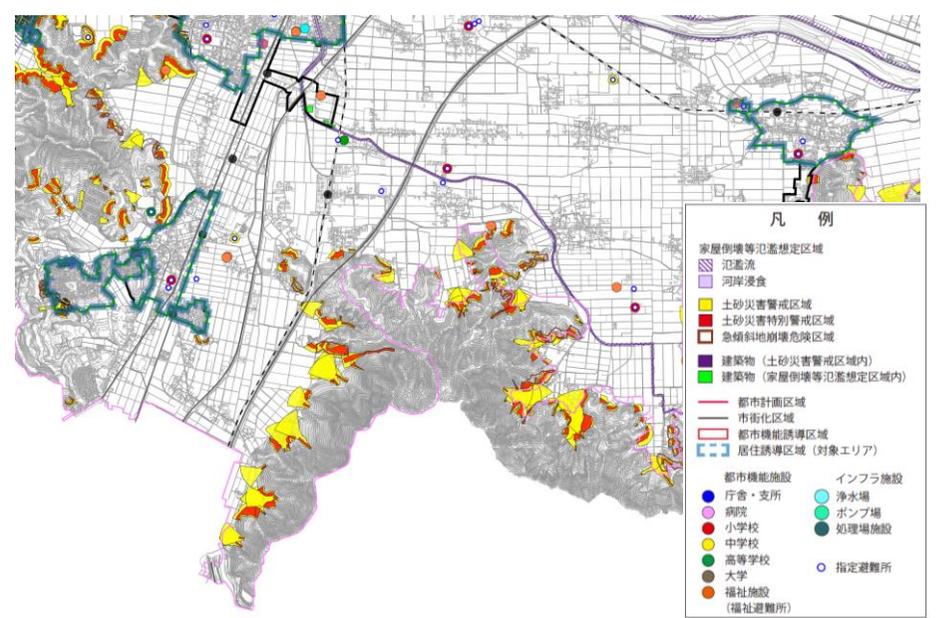
■洪水浸水想定区域（計画規模）×建物階数



■洪水浸水想定区域（想定最大規模）×建物階数



■浸水継続時間3日以上区域×建物階数



■土砂災害×建築物×都市機能施設等

(2) 災害別の取組方針

各エリアにおける災害ハザードの分布状況を踏まえ、これまでの枠にとらわれない災害リスクの低減に向けた取組方針を定めます。

本市の居住誘導区域には、洪水浸水想定区域や浸水継続時間3日以上区域、内水浸水想定区域が広がっており、河川の沿岸部とその周辺には家屋倒壊等氾濫想定区域が分布しています。これらの対策として、河川整備に加え、流域全体で被害を低減させるため、雨水貯留施設や田んぼダムの整備、農地や緑地の保全による保水機能の確保など、関係機関が協力してハード・ソフト両面から対策に取り組んでいく必要があります。

山際には、土砂災害警戒区域が分布しており、安全性を把握し、必要に応じて土砂災害対策事業を行う必要があります。

大規模盛土造成地においては、安全性の把握を行う必要があります。

全ての災害に対して、防災知識の普及と意識啓発の実施、情報伝達体制の整備、要配慮者への支援などに取り組む必要があります。

これらの取り組みを進めることで、被害の低減に努め、災害リスクに考慮した居住誘導を図っていきます。

表 災害別の取組方針

災害の種類			主な取組み	
			ハード	ソフト
水害	外水	洪水浸水想定区域	<ul style="list-style-type: none"> 河川改修 雨水貯留浸透施設の整備 ポンプ場の排水能力向上 森林整備 施設の耐水化 田んぼダムの整備 建築物の浸水対策（止水板の設置等） 	<ul style="list-style-type: none"> 水位計、カメラ設置 農地や緑地の保全 特定都市河川の指定
		浸水継続時間		
		家屋倒壊等氾濫想定区域		
	内水	内水浸水想定区域		
土砂災害		土砂災害警戒区域 土砂災害特別警戒区域	<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害対策事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 安全性の把握
大規模盛土		大規模盛土造成地	-	<ul style="list-style-type: none"> 安全性の把握
全ての災害		-	-	<ul style="list-style-type: none"> 災害リスクの低い土地への誘導（居住誘導区域の見直し） 防災知識の普及と意識啓発 情報伝達体制の整備 災害時応援協定の締結 要配慮者への支援 実践的な防災訓練の実施 地区防災計画の作成